

# 見えない化される責任

## 東電刑事裁判と原発汚染水

2023. 3.4  
武藤 類子

犯方不明作動中

所構  
凶器  
の  
写真機

交付されたものを除く  
まの立入り

全員無罪  
不当判決

全員無罪  
不当判決

東電株主会  
福島の責任を  
認めろ

東電株主会  
取柄後、福島原発事故の責任を

勝俣 武藤 武黒  
清水 森の  
責任認める

株主勝利

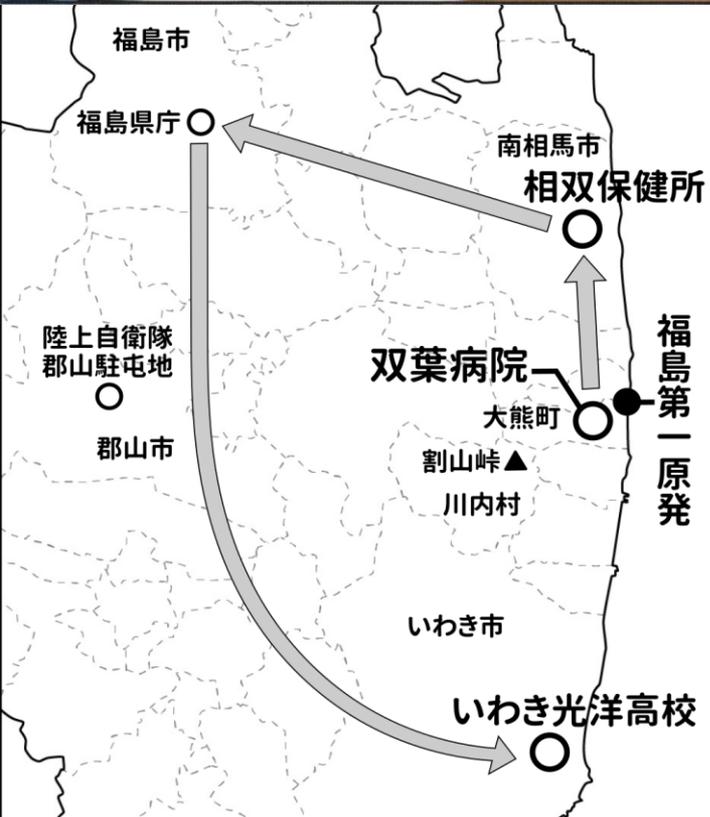
株主勝利



# 過酷だった 双葉病院からの避難

←撮影:飛田晋秀

↓出典:原子力安全委員会被ばく医療分科会





福島第二原子力発電所に押し寄せる大津波（平成23年3月11日）

出典：福島県「東日本大震災の記録と復興への歩み」



東京高裁は  
厳正な裁判を!

東京高裁は  
厳正な裁判を!

福島原発  
厳正な裁判を!

汚染水の海洋放出を  
とめる！

これ以上  
この海を  
汚さないで！

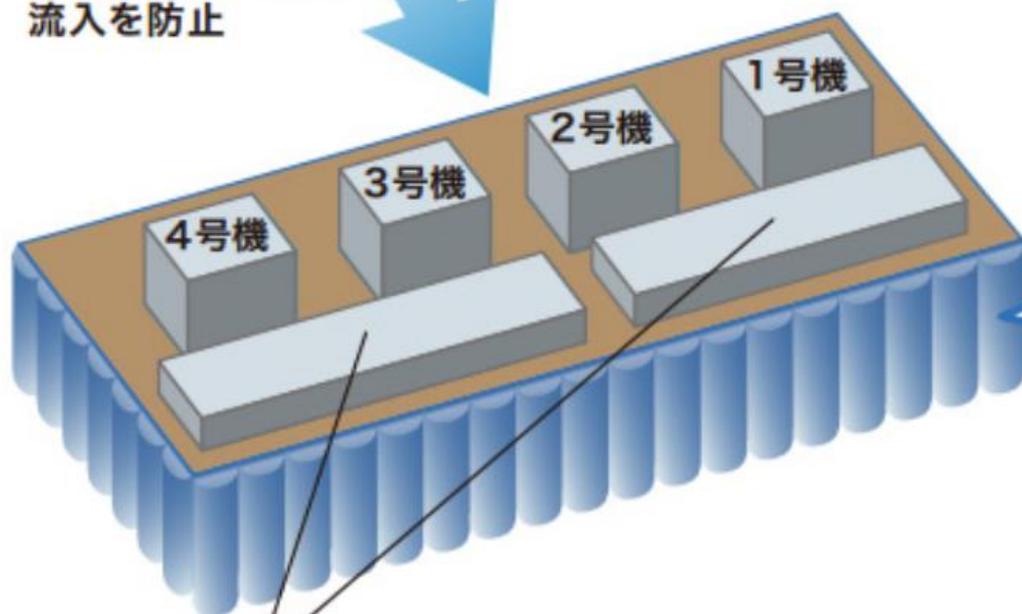
# 失敗に終わった凍土壁

開発・建設費345億円は国費(税金)  
維持費は年間十数億円

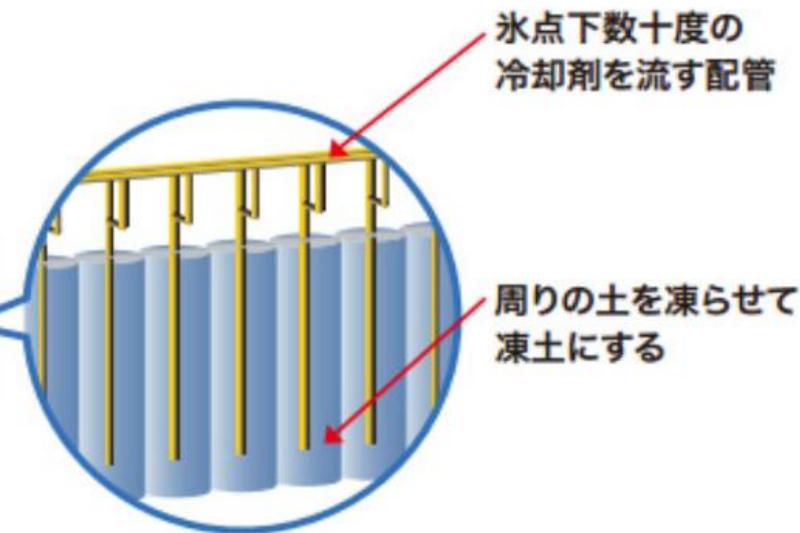


## ◆凍土壁のイメージ

1日400トンの  
地下水の建屋への  
流入を防止



タービン建屋



氷点下数十度の  
冷却剤を流す配管

周りの土を凍らせて  
凍土にする

# 「関係者」とは誰か

「断固反対」を訴える福島県漁連会長(左)と全漁連会長(当時・右から2人目)

写真:東京新聞



4. 建屋内の水は多核種除去設備等で処理した後も、発電所内のタンクにて責任を持って厳重に保管管理を行い、漁業者、国民の理解を得られない海洋放出は絶対に行わない事

(回答)

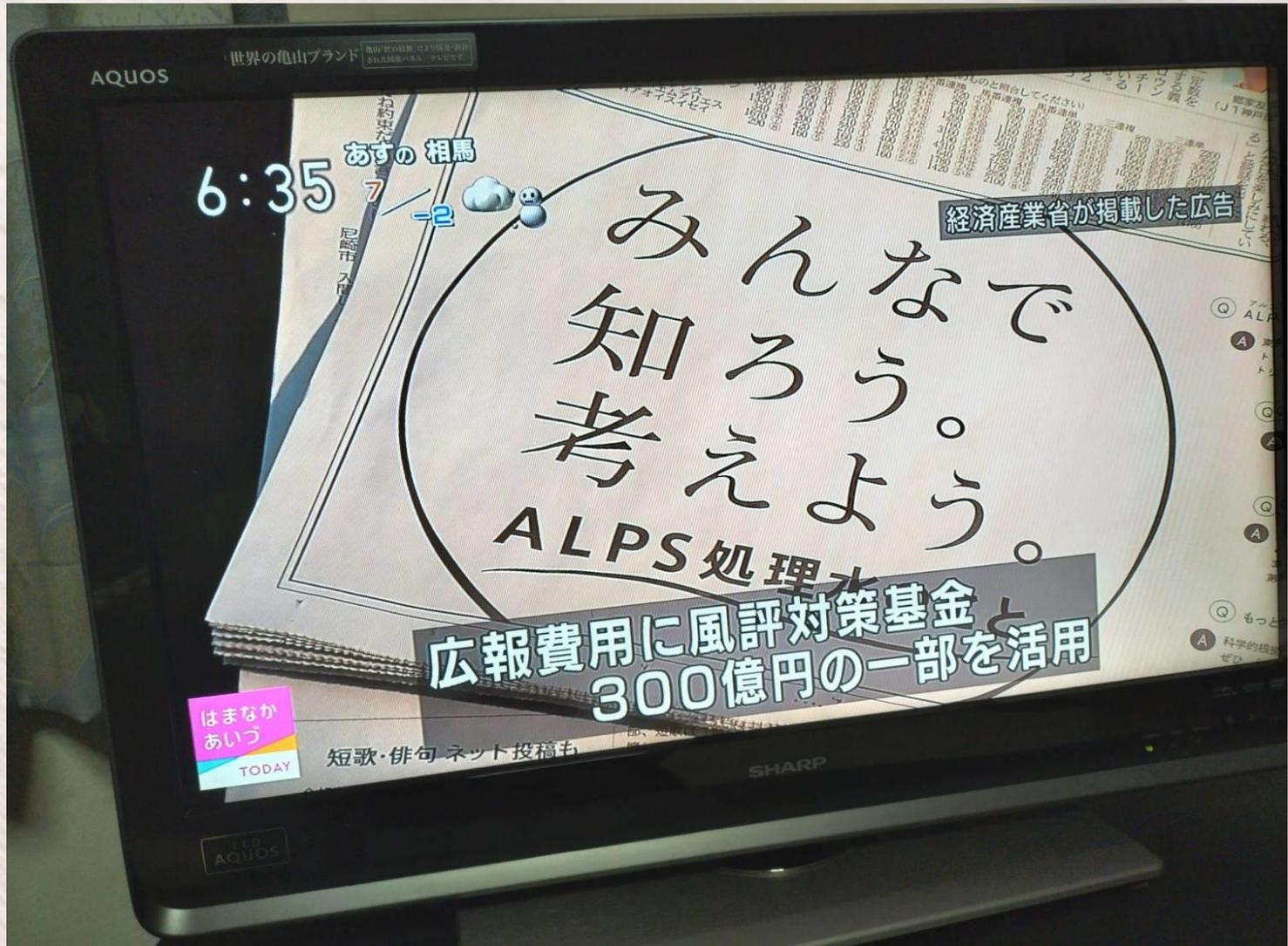
- ・ 建屋内の汚染水を多核種除去設備で処理した後に残るトリチウムを含む水については、現在、国（汚染水処理対策委員会トリチウム水タスクフォース）において、その取扱いに係る様々な技術的な選択肢、及び効果等が検証されております。また、トリチウム分離技術の実証試験も実施中です。
- ・ 検証等の結果については、漁業者をはじめ、関係者への丁寧な説明等必要な取組を行うこととしており、こうしたプロセスや関係者の理解なしには、いかなる処分も行わず、多核種除去設備で処理した水は発電所敷地内のタンクに貯留いたします。

←東電が福島県漁連からの要望書に回答した「東京電力（株）福島第一原子力発電所のサブドレン水等の排水に対する要望書に対する回答について」（2015年8月25日付）より

# 騙すようなやり方で安全を喧伝する



# 莫大な風評対策基金を使った広告戦略



# 「出前授業 復興庁職員と考える 福島復興」

全国の8校に復興庁の参事官や政策調査官、統括官が訪れ、授業が行われた。

風評被害の話が印象的だった。自身も情報欠如から偏見を持たないように、理解を深めたい。

怖いイメージのある放射線について正確な情報を伝えていきたい。

処理水の海洋放出は人体に影響があると思っていた。安全だと初めて知った。

ALPS処理水は科学的には安心だとわかったが、心理的な不安をどう解消できるのか勉強したい。

福島にお金が入るような新たな事業を立ち上げて、復興に役立てるのがいいと思った。

復興庁ウェブサイトより

## 立命館慶祥高等学校

北海道江別市

2022年9月21日、立命館慶祥高等学校(江別市)で「東日本大震災からの復興と福島の復興」をテーマに授業が行われました。当日は復興庁の中尾大志(なかにま・たいし)参事官が講師として登壇し、同校の2年生17名が授業を受けました。

### 【授業を受けた生徒たちの声を紹介します】



風化防止のために大変を忘れず、預された課題もみんなでお考えの必要があると思った。

谷口 賢吾さん

ALPS処理水について知っていたが、丁寧に管理されていることを知り考えが深まった。

酒井 真由さん



本やインターネットの情報だけでは不十分と実感した。現場を訪れたい気持ちが高まった。

白根 あきひろさん

風評被害の話が印象的だった。自身も情報欠如から偏見を持たないように、理解を深めたい。

佐藤 琢磨さん



### 【東日本大震災からの復興】

はじめに、震災の発生と東京電力福島第一原子力発電所(以下「原発」)の事故発生経緯について触れました。放射線量は震災直後から大幅に低下し、人体への影響がないことや、多くの地域で避難指示が解除され、インフラが整備されるなど、復興が進む一方で、原発事故の影響で回復が遅れている産業があることや水が豊富でない地域があり、避難が続いている人がいるといった課題も紹介されました。

### 【原子力発電所の廃炉に向けた取り組み】

次に取り上げたのが、今も続く原発の廃炉に向けた取り組みです。廃炉とは必要なくなった原子炉や関連設備を解体・処分すること。その工程の一つである「ALPS処理水の処分」について、授業を受えながら説明しました。雨水や地下水が浸入することなどで放射性物質に汚染された水が発生し、続けていきます。こうした水は、浄化処理が必要となり、ALPSという設備により、トリウムを除く放射性物質を濃縮処理などで除去し、敷地内のタンクで一時保管されることとなります。このALPS処理水について、タンクを増やしたり、続けるにも限界があり、強制的な監視のもとで海洋へ放出することが予定されていること、ALPS処理水に含まれるトリウムは、放射線量が微量で、体内に入っても蓄積されないなど、健康への心配はないことなどを解説しました。中尾さんは「復興に向けて廃炉は不可欠。そのためしっかりと安全性を確認してALPS処理水の処分を行っています」と話し、重要性を伝えました。学生たちは真剣にメモを取り、興味深く話を聞いていました。





# ストップ！ 汚染水の海洋放出

わたしたち  
汚染水の海洋放出に反対する『関係者の声』を  
福島県知事らに届けよう！

海は誰のもの？この世界に生きる、全てのいのちのもの。そしてこれから生まれ来るいのちのもの。私たちはこの「いのちの海」を、放射能汚染水でこれ以上汚したくありません。東京電力は「関係者の理解なしには如何なる処分も行わない」と福島の漁業者に約束してきました。だから、汚染水海洋放出の強行は、海と漁業の復興を目指してきた漁業者との約束を破るものです。

日本国内からも海外からも、汚染水の安全性を心配する声や海洋放出に反対する声が大きくなっています。私たちは、そのたくさんの思いを「いのちの海」を守りたい『関係者の声』として、内堀・福島県知事、吉田・大熊町長、伊沢・双葉町長あてに直接届けるハガキ行動を呼び掛けます。

ハガキのメッセージは難しい言葉や説明である必要はありません。なんとかして海洋放出を止めたいというみなさんの思いを書いてください。裏面に海洋放出の大きな問題点や、今日までに寄せられた「声」を紹介しています。私たち一人ひとりの声と思いを届けましょう。

## 福島県内の43市町村議会が汚染水放出に反対・慎重

汚染水の海洋放出方針に反対や慎重な対応を求める  
意見書や決議を採択した議会数  (2020年3月~12月)



これ以上海を汚すな！市民会議（略称「これ海」）  
『関係者の声』ハガキ担当（片岡） mail: koreumikaigi@gmail.com  
090-7567-6588  
facebook: @koreumi  
https://ko-reumi.blogspot.com



# 私たちも「関係者」 ハガキ作戦！

63円切手をお貼り下さい

郵便はがき  
9 7 9 - 1 4 9 5

63円切手をお貼り下さい

郵便はがき  
9 6 0 - 8 6 0 5

福島県双葉郡双葉町  
大字新山字前沖28  
双葉町役場内

町長 伊沢史朗 様

福島県福島市杉妻町2-16  
福島県庁内

県知事 内堀雅雄 様



県知事らに汚染水海洋放出阻止を  
求める『関係者の声』ハガキ作戦！

詳細は裏面をお読みください

63円切手をお貼り下さい

郵便はがき  
9 7 9 - 1 3 0 6

福島県双葉郡大熊町  
大字大川原字南平1717  
大熊町役場内

町長 吉田淳 様

